



# 川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~

例会場:大本山川崎大師信徒会館

事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail:[daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp)

会長 横山 俊夫  
副会長 山井 俊次  
幹事 小野 清久  
SAA 矢野 清久  
清水 宏明

第1951回（本年度 第39回）例会 平成25年4月24日 一晴れ一

- 司会 清水 宏明 SAA
- 点鐘 横山 俊夫 会長
- 斉唱 奉仕の理想  
ソングリーダー 須山 文夫 委員長

**卓話者のご紹介** 横山 俊夫 会長  
「まちの縁側大師」企画委員会  
内田 豊子（うちだ とよこ）様  
「川崎区地域福祉ボランティアの活動について」

**ゲストのご紹介** 横山 俊夫 会長  
国際親善奨学生 内田 夏樹さん

**ご挨拶** 内田 夏樹さん  
現在フィリピン大学の大学院において地域開発を勉強しています。今月最初の学期が終わり、今フィリピンは夏を迎えていて夏休みで帰って参りました。連日35度を超える暑さでしたので日本帰ってきて寒さで震えています。

一学期間無事に何とか元気に終えました。その間に2回ロータリーのスピーチをして参りました。ホストクラブの会長さんがジョイントクラブを開催して下さいました。1回で16クラブ集まって下さいまして、かなり大きな所で私の近況、日本のクラブの紹介、私自身の紹介、現在やっていることの紹介をさせて頂きました。又、その後マニラリストRCもジョイントクラブを開催して下さいました。そこで同じようにスピーチをして参りました。その際に川崎大師RCのバナーを頂いていたので交換してきましたのでこちらをご覧になって下さい。

私は今年に入ってボランティア活動を始めました。マニラの北の方にある外れの市の貧困地域において主に障害児を対象にした学童でのボランティア活動を週2回しています。そこでアシスタントティチャーとして、現地の人々は英語があまり話せないでフィリピン語を主要としていますのでなかなかメインになって役に立つことはできていませんが子ども達と一緒に遊んだり、障害児の子ども達が多いので一人一人に付いていろいろな活動をしたりしています。まだフィリピンは人口の80%が貧困だといわれています。実際に生活してみると本当に一部の人達が裕福な生活をしていて、それ以外の人達は今日食べるもので精いっぱいという生活を目の当たりにする度にすごく心が痛い思いがします。それも含めてフィリピンに行ったらしっかりと勉強する上で日本では経験できなかったことを日々経験できているなというふうに実感しています。

私は奨学生としては今年の6月一杯で終了し今度学友になります。今後も引き続き応援して頂けたらと思います。私はまだ1年半3学期間フィリピンで勉強してまいりますのでまた近況報告させて頂きたいと思います。ご声援ご支援ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



**会長報告** 横山 俊夫 会長  
・4月23日（火）川崎南RCにて第2590回例会があります。当日は、露木雄二ガバナーの卓話があります。横山、船山会員、牛山会員の3名が出席の予定です。当クラブは今年40年迎えて来年4月20日が第2000回例会です。  
・ロータリー為替レート変更  
2013年5月から1ドル98円

**幹事報告** 矢野 清久 幹事  
・姉妹クラブからの記念品を事務局テーブルに展示してあります。御希望者はニコニコを入れてお持ち下さい。  
・5月1日（5月第一水曜日）定款細則により休会

**出席報告** 石渡 利治 会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1951回	56	45	29	16	64.44%
1949回	56	46	24	22	52.17%
前々回の修正	メークアップ 13名	修正出席率	80.43%		

### メークアップ

野澤会員、林会員、嶋崎会員、竹中会員、竹田会員、石川会員、渡辺会員、伊藤会員、秦会員、船木会員、小泉（知）会員、澤口会員、中村（孝）会員

## スマイルレポート (ニコニコボックス)

小林 勇次副会長

## 布川 二三夫会員

内田さんスピーカ一宜しくお願ひします。

## 宮山 光男会員

先日のBグループ・ファイヤーサイド出席の皆様、有難うございました。大変有意義でした。

## 鈴木 昇二会員

- ①「まちの縁側大師」代表 内田豊子様、卓話宜しくお願ひします。
- ②内田夏樹さんお久し振りです。フィリピンでの学生生活エンジョイしていますか。
- ③昨日は妻の誕生祝が届きました。今年は特にすばらしいお花でした。有難うございます。

## 石川 庸会員

先週の土日は半分は雨でしたが、第9回かわさき楽大師にご協力いただき有難うございました。来年は記念すべき10回です。晴天で迎えたいと祈っています。

## 竹田 正和会員

- ・内田夏樹さん無事の一時帰国何よりお帰りなさい。
- ・本日は同姓の内田さんの卓話を楽しみにしています。

## 竹中 裕彦会員

夏樹さん、元気そうで何よりです。Enjoyして下さいネ。

## 水口 衛会員

21日の楽大師献血活動にご参加いただきました会員の皆様、雨と寒さの中ご苦勞様でした。

## 澤口 みよ子会員

先日はファイヤーサイド御利用ありがとうございました。

## 横山 俊夫会長

楽大師において、ローターアクト献血活動にご協力頂きました会員の皆様、寒い中ありがとうございました。

## 矢野 清久幹事

- ①献血に参加の皆様、寒い中お疲れ様でした。
- ②内田さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

## 小林 勇次副会長

- ・ファイヤーサイドご参加の皆様、有難うございました。
- ・内田様、卓話よろしくお願ひ致します。
- ・内田夏樹さん学生生活をエンジョイしていますか？

## 本日のニコニコのテーマ

- 内田 豊子様 卓話宜しくお願ひ致します。  
 岩井 茂次会員、渡辺 富士夫会員、牛山 裕子会員、  
 船山 昭三会員、伊藤 佳子会員、石渡 勝朗会員、  
 中村 孝会員、長島 亨会員、増田 昌美会員

## 委員会報告

創立40周年記念誌委員会 清水宏明委員長

記念誌に記載する原稿、写真の締め切りが先週20日でしたが、芳しくない状況ですので6月の前半に記念誌を発行したいという計画ですすめております。原稿が1日遅れれば発行が1日遅れます。出来れば年度内に発行したいと思っていますので重ねて協力のお願ひを申し上げます。

## 卓話者のご紹介

伊藤 佳子会員

「まちの縁側大師」という事で内田豊子様に卓話をお願いしました。

略歴 奈良県出身

大師に来てからずっと民生委員活動、市民館保育グループの設立、子育てサロンの立ち上げ、教育文化会館運営審議委員、市民館自主企画委員等を経て、地域活動に多くかかわっている。現在、福祉活動団体や行政と協力し、地域の居場所として「まちの縁側」に力を注いでいる。市から色々援助を受けていましたが、最近カットされ現在運営が成り立たないということで今日は皆様のご援助を頂ければという事でお話を伺いたいと思います。布川二三夫さんの弟さんの奥さんが今まで「まちの縁側」の会長さんをなさっていました。現在内田さんが会長になりましたので布川さんからお願いします。

布川 二三夫会員

今伊藤さんの方からお話が有った通り、私の弟の嫁さんがずーっとやっていたのですが、今までは市や行政から多少の寄付があったらしいのですが、ここの所一挙に削られたという事で財政的に非常に困っているという話を聞いてロータリーにご援助を頂きたいというような気持ちで弟の嫁さんもいっていました。若い人にバトンを渡し内田さんが今度会長になりました。活動は熱心に益々やるという話でございますのでどうか浄財を宜しくお願ひしたいと思います。市役所で今までくれていたのが無くなり途端に苦しくなったという事なので宜しくご協力お願いします。

## 卓話

内田 豊子様

「まちの縁側大師」の今期から代表をさせて頂いております内田豊子です。宜しくお願ひ致します。

今日はフィリピンから帰っていらっしゃっている内田夏樹さんという内田同士で、なんだかロータリークラブの方々とはいいご縁があるのかなあというふうに思っております。

私は初めてロータリークラブの定例会に参加させて頂きましたが、こういうふうにと穏やかな感じでいらっしゃるといのも初めて知りました。活動についても伊藤佳子さんからは常々聞いておりましたが、内容等もいろんな活動をされているという事も今日分かりました。今日はお招き頂きまして有難うございます。

「まちの縁側大師」のことについてお話をさせて頂きたいと思ひます。「まちの縁側大師」は川崎区地域福祉計画のシンボルプロジェクトの一環として縁側事業というのが発足しております。皆様のお手元に川崎地域福祉計画という冊子がございますがこれはもう第3期となっております。



私共が開設したのは第1期のことでございます。第1期の時で大師の方で「まちの縁側」というものがなかったのと、縁側というのは、昔は各家庭とか軒先で井戸端会議の様なものが出来ていたものが、昨今の生活様式とか近隣との方々の密接なつながりがなくなったという事で、集まる場所の設定をして地域住民がお子様から高齢者までと一緒に集まる居場所の提供という事で縁側をとらえております。

まずどこに場所を設定しようかという事から始まりました。

平成17年7月に発会をしました。開設運営はもともと川崎区の地域福祉計画の作成委員が集まり、大師で一つ縁側を立ち上げようではないかという事で発会をさせて頂きました。

今発会メンバーは各地域ボランティアをしている方達とで立ち上げ、今年の12月で7年間で約100回目を迎えるまで成長しております。

今まで縁側作りとか地域福祉のことによっての集まりというのは町内会が母体になっての活動が多かったと思いますが、町内会で行うとその町内の方だけが集まってくるような形になってしまうということで、平成17年頃は大師の川沿いの方に大型マンションの建設の始まる頃と同時期だったので、そこに3000世帯以上の住民が一度に大師に移り住んでくるという状況が見えていました。他の地域からマンションに越して来られた時には、起動している町内活動の参加というのはたぶん凄く入りにくいのではないかとという事で、会場を市民館であるプラザ大師に設定させて頂きました。

プラザ大師の中には図書館等、市民館の施設もあるのでより多くの住民の方が集まれる施設という事でそこを会場にしました。内容をどうするかという話し合いをした時に、「音楽のまち川崎」というその当時阿部市長が中心で盛んに音楽で交流を図るという事を推進されておりましたので私共の「まちの縁側大師」も音楽プログラムと暮らしの情報という事で行政の橋渡し、行政のごみの問題や消防、警察と協力しながら暮らしの情報を提供していくという事で2本立てでプログラムを組ませて頂きました。今、毎月50名くらいの方が参加をして下さっています。

皆さんのお手元に「まちの縁側大師」の活動計画があると思います。毎月第2火曜日に一回やっております。事業内容を見て戴くとさまざまな方に出て頂きまして必ず音楽プログラムを入れるというやり方をしています。

昨日の4月にはロータリークラブの会員でもあります嶋崎嘉夫さんに来て頂いております。先程布川二三夫さんの方から運営状態が厳しいというお話が有りましたが川崎区地域福祉計画という名前がついて川崎区地域福祉計画ではあるのですが予算が全く最初からつかない状況で始めております。

こういう事業に関しては福祉計画などには予算がつくものだと皆さん思っていることが多いと思いますが最初から予算がなかったので運営をどうしようかという時に、結局は地域住民の方、参加者の方からの100円の会費徴収、私共ボランティアの方も100円徴収してその合計で運営をしていったという状況でありました。

先程、市の方から予算があったというのは川崎区の世界福祉協議会がボランティア助成金というのを出して下さり2年前まではいただいております。去年は承認なしという回答が来てまったくゼロの状況で参加費徴収し



かお金の無い財源でやっておりました。

ただ去年の場合は1年間の計画を4~5月の間に3月までの出演者交渉とか行政の橋渡しという事でプログラムが決まっておりましたので予算のない中では出来ないという事で中止にしてしまおうかと思ったのですが、毎月50人、60人の方が参加して下さるのを全く全部やめてしまうのはということで個人の方が支援金という形でご寄付下さりましたのをもとに去年は運営いたしました。

今年の活動25年度のプログラムについては、全部のことがまだ金銭的な部分で内容を埋めていくことが出来ない状態です。私共がどこかにご協力をという事で大師地区でどなたかにご協力できないかなという時に大師RCさんであれば地元の地域で大師を拠点に動いていらっしゃるし、奉仕活動もされている、何年か前にゆずりはコンサートもやっていたらっしゃるという事、音楽プログラムにも興味があるとお聞きしていましたので、大師RCの皆様方と協賛なりご協力を願えればという事で今日参りました。

ご質問とかありましたらお答えしたいと思います。

**Q：毎月「音楽プログラム」と入っていますがどういう事をやるのですか？**

A：24年の活動報告を見て頂くと分かると思いますが、上の部分が「暮らしの情報」という事で行政の方に来ていただいております。下の部分に例えば5が8日ですと「なつかしい歌を一緒に」コーラスグループの方、6月ですと「トンコリと三味線の演奏」民族音楽を持ってこられたりとか韓国の歌手の方に来ていただいたりとか朗読の方に来ていただいたりといろいろ多種多様の方をお呼びしております。

地域でやってらっしゃる方やグループですと老人会の方がちょっと来て音楽を聴くという事をやってらっしゃることが多いのですが、「縁側」の場合はいい音楽を皆さんに提供するという最初の目的が有ったので、できるだけちょっといい音楽、今まで聞いたことのないピオリラというバイオリンと琴とが合体したような楽器をお願いしたりしております。

一方的に歌を聞くとか演奏を聴くだけでなく、必ず皆

さんと一緒に歌うような形で、何曲かは一緒に語尾を  
図るような形で考えております。出演者の方も一度ご出  
演頂きますとまた出して頂きたいという申し出がありま  
すので再度お願いするという形も取らせて頂いております。

お金の面でいいますと行政が全く無償出来て頂ける  
という利点がありますが、「音楽プログラム」出演者に関  
しては全く無料とはいきません。楽器もいいものを運ん  
で来て下さる点もありますので交通費程度の謝礼をお支  
払している状況です。

黄色のチラシがありますが大師地区の町内会の会長さ  
ん、町内会のご協力を得まして大師地域界隈の掲示板に  
は月の始めに貼ってありますのでそれを見て来ていただ  
くという事があります。

来て参加して下さる方に話を聞くと、やはり他都市か  
ら越して来られた方に数人いらっしゃいまして、たとえ  
ば町内会でやっている老人の集まりとかにはなかなか入  
っていけないのだけれど、この黄色のチラシを見た時に  
どなたでも参加できますという言葉が目について、ふら  
っと一人でも参加できる雰囲気作りをしています。

「音楽プログラム」の前にはお茶のタイムという事で  
地域住民の方が自由に話せて、お茶を飲んで語らう時間  
も15分程度作ってやっております。

凄いいっぱいの寄付を希望しているみたいにならな  
いと思うのですが月に換算すると5000円程度です。年間7万  
ほどあると助かるという話です。つきに5000円ばかりの  
援助を頂けますかということですが。

参加者徴収金100円頂いているのがお茶代になります。  
行政の部分は無料です。プラザ大師の会館使用料がかか  
ってきます。それは参加者負担からさせて頂いて、出演  
者に対する謝礼金の部分が全くでなくなってしまったの  
で、それを今まで社会福祉協議会の方にはボランティア  
活動の団体という事でお願いしておりましたが打ち切り  
になったので、もしロータリークラブさんの方で協賛で  
一緒に活動して下さるのであれば長期的に安定した運営が  
できるのではないかとというようなことを考えております。

今までは来年度予算が下りるかどうかわからない、  
先行きどうなるかわからない状態でやっていたのでボラ  
ンティアの方もやめていく方もいるし、不安が先に募っ  
てしまっていて個人負担が増えてくる状況になったのではボ  
ランティア活動というのはなかなか続かない状況ではあ  
りません。

今、私が市の方に訴えかけていることは、市の計画で  
あるにも関わらず予算をつけないという事に対してはい  
つも申し上げています。

市長さんにあつては対応しても、市長は偶々のことまで  
ご存じないのでそれぐらいの予算なら出るだろうと市長  
はおっしゃるのですが、全く出ていない活動もあるのだ  
すよというのは申し上げています。

今ボランティア活動をしておられる方の年齢というの  
はほぼ60歳以上70歳代の方が殆どだと思います。若い方  
のボランティアを育てるということがすごく大変な時代  
になってきました。私は50代半ばなのですが、40代50代  
のボランティアの育成をしないとこれから先の奉仕活動、  
地域福祉に対する活動というのが市の行政のサービスだ  
けではどうしようもない状況になっているという事もい  
つも訴えています。

ボランティアを育ててそれから地域に発信していく  
という事も含めてこれからも頑張っていきたいとは考  
えています。

## 卓話御礼

横山 俊夫会長

内田さんのお話分かります。

私も地元で民生委員や他のこともやったりしていて、  
確かに行政はいろいろ計画は立てるのですが実際に  
やるのは地元の人で、地元の人がやればやるほど持ち出  
しが多くなってボランティア活動に積極的に参加をする  
人が少なくなっているのは事実です。少なくとも最低の  
費用くらいは出してもらえないかという話を私などもよ  
く区役所の担当者にします。

今このパンフレットの窓口は民生委員の窓口でもある  
し赤十字の窓口でもあります。いろんなものを窓口にし  
ていてそれぞれ活動によっての予算的なものとか支援が  
違うのも事実ですし、また福祉パルの所にある社会福祉  
協議会の事務所なども色々な団体が申請に来るので、な  
かなか一年の最初に申請が出て今年通ったから来年も通  
るかということ非常に難しいのも分かります。

そういう中で活動されていて地元大師の活動を中心  
にしている大師RCさん何とかひとつ応援できませんか  
という今日のお話でございます。

私がここで即答で「いいですよ」という訳にはいき  
ません。お解りになって頂けます。今お話を聞きまして  
パスト会長の布川さんも先ほど冒頭にお話も頂きまして、  
やはり身近な仲間の人がちょっと何とか助けてよとい  
うのは見過ごせないかなというのはありますが、私共い  
ろんなところで支援をさせて頂いて事業もしております  
でも一度きちと精査をして改めてきちとした回答  
を出せるのかなと思っております。

今日は今の「縁側」の概略のお話を伺いましたので  
そういう活動をされている方が地域にいるという事を皆  
さんご理解いただけたと思います。

今後とも頑張って欲しい、その中には少し支援もし  
てほしいという事でございますので前向きに検討させて  
頂くという事で今日はご報告させて頂きます。

素晴らしい活動をされていて私共も実際にそういう  
ところに一度足を運ばないと、と思っておりますので私  
も一度見させて頂いたうえで又お話を投げたいと思っ  
ています。どういふふうになるかははっきり言えませ  
んけれども是非見学に行かせて頂きたいと思  
います。その時は宜しくお願いします。



日時：平成25年5月15日(水)は通常例会です。

社会奉仕月間

卓話者：牛山 裕子 会員

テーマ：地域での社会貢献活動について



秦 琢二／竹内 祥晴／小泉 知寛